



導入事例

RELX

RELX

RELX Technology は、中国の業界で60%以上の市場シェアを占める革新的製品の大手メーカーです。同社ブランドは世界的にも急速に成長しており、製品は50か国以上で販売されています。テクノロジーとデザインを通じてユーザーに力を与えることを目指し、幅広い製品が揃っています。

RELXは社会的責任を非常に重視しており、研究開発に大きな投資をすると共に、AIや顔認識技術を活用して未成年による製品の利用を防ぐよう力を入れています。未成年者を保護し、製品の誤用を防ぐために「ガーディアンプログラム」と呼ばれる保護システムを構築しています。

法令遵守、模倣品、チャネルの管理

RELXは、ブランドの法令遵守、模倣品対策、チャネル管理という3つの側面からオンライン事業を管理する必要があると考えております。

社会的責任および業界規制を厳格に遵守する必要性から、不正ウェブサイトや広告は直ちに規制し、排除する必要があります。また、現地の販売者が並行市場で製品を販売する際に契約規定を守らない場合や、RELXの商標を無断で使用することもあり、法令遵守の徹底が必要です。

RELXは、自社製品のオンライン販売に関して、各地域の様々な法律を把握し遵守するだけでなく、製品の高い品質と消費者の安全を維持するという強い立場を取り、粗悪品や不良品で消費者の健康に深刻な被害を与える可能性のある模倣品や類似品を決して容認しません。品質を維持し、消費者を守るために、RELXは独自のゴールデン・シールド・プログラムを確立

し、権利侵害をしている模倣品や類似品の製造や販売を防止しています。同社のチームはオンライン・オフラインを問わず、税関など、様々なチャネルと積極的に連携し、世界で販売される偽造品を監視・追跡することで、市場から不正品を排除しています。¹ RELXは、同社ブランドを不正に利用した継続的な模倣品販売行為に対抗するために最も必要なことは、長期的かつ一貫した取り組みが必要だと考えております。

RELXは、不正行為を阻止するための自社の強力なプログラムを補完するため、国際市場への事業拡大を支援し、法令遵守を維持しながら、模倣品に対抗できるような、オンラインチャネルに関する専門知識を持つパートナーを求めました。

偽装ドメインの陰に模倣品業者

模倣品業者は、オンライン空間が提供する便利で匿名性の高い環境を利用し、簡単にかつすばやくネットショップを構築します。彼らは登録が簡単なドメインを購入し、ブランド名とキーワードを組み合わせたドメイン名を使用し、RELXのロゴで消費者をだまして、ウェブサイトを信用させるのです。

同社の法務部門はこれまでも、第3者が登録したドメインを見つけた経験が何度かありました。そのうち、RELXChina.comとRELXcn.comでは、RELX創業の地である国名に関連するキーワードがドメインに使用されていました。これらのウェブサイトはRELXの公式ウェブサイトにとっくりで、RELXブランドの製品を販売していましたが、ドメイン名の登録者は、WHOIS保護サービスを利用して本当の所有者情報を隠していました。

¹ relxnow.com/pages/pledge#golden

また、不正ドメインとRELXwholesale.comやRELXtmall.com「tmall」は中国で人気のEコマースモール)など、Eコマース関連のキーワードを組み合わせた偽装ドメインもありました。別の拡張子で登録する「いとこドメイン」と呼ばれるものを利用するケースもありました。この場合は、gTLDのRELX.shopが使われていました。

このようなケースのすべてで、同社の法務部門とCSCのチームは、こういった第三者が所有している類似のドメインが十分に消費者を混乱させることが可能だと言う証拠を提示し、これまでの実績に基づいて登録者のプロフィールを分析し、これらが正当な権利を持たず悪用されていたことも明らかにしました。そして、統一ドメイン名紛争処理方針(UDRP)を適用し、ドメイン所有権をRELXへ譲渡させることに成功しました。

チャネルの統制

同社の法務部門の懸念材料の1つは、東南アジアの新興市場とそのオンラインマーケットプレイスでした。法務部門とCSCは数ヶ月のうちに、東南アジアで人気のある複数のEコマースアプリで、多くの不正出品を特定、意図的な類似品の出品に対して措置を講じ、収益の損失を低減しました。しかしそれより重要なことは、RELXの顧客を不正出品から守ることができたということです。

協力するだけでなく、RELXが掲げる「ブランド侵害や悪用を決して許さない」という立場を深く理解し、CSCの実施チームが侵害者に対してすばやく対処できるよう、承認プロセスを迅速化する特別ルールを構築しました。これにより数週間で、同チームは100件を超えるウェブサイトやアプリ、ソーシャルメディアサイトに対して措置を講じることができました。

RELXは、ウェブやマーケットプレイス、モバイルアプリを監視する広範囲なサービスを通じて、オンラインチャネルを完全に可視化し、制御下に置くことができました。今では侵害が検知されると、CSCの国際的な実施専門家チームが分析を支援し、RELXに代わって権利行使措置を講じます。これによりRELXチームは、世界規模での侵害検知や権利行使は真の国際パートナーに任せ、現地管轄地域での活動に集中することができます。

多くの世界的なブランドに代わり、CSCは世界規模のマーケットプレイスのプラットフォームと連携しながら、そのブランド保護プログラムを深く理解することに精通しています。RELXは、CSCの効果的なオンライン模倣品対策と、ブランド、パートナー、プラットフォームの三者相互協力体制を通じて、そこからメリットを得ているのです。

世界展開

RELXが世界に向けて事業を拡大するにあたり、CSCはブランド保護やデジタル資産管理の実績に基づいて、グローバル市場参入戦略を支援しています。CSCは、企業がそれぞれのニーズに基づいてオンラインブランドを保護する包括的な手

「CSCは、技術的評価、侵害分析、乱用テイクダウンなど、あらゆる面で極めて専門的かつ効率的であり、信頼できるパートナーです。」

法を導入できるよう、また、事業に多大な影響を与えかねない、変化の激しいインターネット政策の最新情報を常に入手できるよう助言します。

「CSCは、技術的評価、侵害分析、乱用テイクダウンなど、あらゆる面で極めて専門的かつ効率的であり、信頼できるパートナーです。」RELXの顧問弁護士を務めるショーン・ダイ氏はこう述べています。

製品ラインナップを統合するというブランド戦略に沿って、RELXはCSCの世界的なエンタープライズ水準の能力を活用してドメインポートフォリオを統合し、ドメインの登録や買収、さらには回収を行い、事業に必要となる重要なドメインを確保しています。さらにCSCは、RELXの顧客を欺き、損害を与える恐れのある侵害がないか、ドメイン名空間の積極的な監視に務めています。



CSC は企業向けドメイン名、DNS、デジタル証明書管理、デジタルブランド保護・ネット詐欺防止サービスのプロバイダとして、フォーブス誌「グローバル2000」や「世界で最も価値の高いブランド100社」[®]に名を連ねる多くの企業に選ばれています。世界的企業の数々がセキュリティ体制に多額の投資をしている中、CSCはセキュリティの盲点を突き止め、ドメイン名、DNS、デジタル証明書を安全に維持するお手伝いをしています。CSCは独自のセキュリティソリューションを活用することで、企業をオンライン資産を狙う脅威から保護し、大規模な収益の損失、ブランドの評判失墜、EU一般データ保護規則 (GDPR) などの規制による多額の罰金を防ぎます。当社は、オンラインブランド監視と保護活動を組み合わせたオンラインブランド保護、そしてフィッシング対策として詐欺からの保護サービスと共に、デジタル資産保護に向けた総合的なアプローチを採用して、保護サービスを展開しています。 cscdbs.com/jp

+81 3 6721 8346

cscdbs.com/jp

Copyright ©2022 Corporation Service Company. 無断複製禁止。

CSCはサービスを提供する会社であり、法的または財務的なアドバイスの提供はいたしません。本報告書に記載されている情報は、参考として提供することのみを目的としています。本情報を利用するには、事前に法律および金融アドバイザーへご相談ください。